



平成27年8月14日

各位

上場会社名 東燃ゼネラル石油株式会社
 代表者 代表取締役社長 武藤 潤
 (コード番号 5012)
 問合せ先責任者 EMGマーケティング合同会社広報渉外統括部メディア広報部部长 甲斐 航介
 (TEL 03-6713-4400)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表した平成27年12月期通期(平成27年1月1日～平成27年12月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,600,000	32,000	31,000	9,000	24.71
今回修正予想(B)	2,700,000	32,000	31,000	15,000	41.18
増減額(B-A)	100,000	—	—	6,000	
増減率(%)	3.8	—	—	66.7	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	3,451,097	△72,948	△73,383	△13,975	△38.36

平成27年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,500,000	31,000	30,000	16,000	43.92
今回修正予想(B)	2,600,000	25,000	25,000	12,000	32.94
増減額(B-A)	100,000	△6,000	△5,000	△4,000	
増減率(%)	4.0	△19.4	△16.7	△25.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	2,979,545	△60,775	8,137	75,969	208.51

修正の理由

平成27年12月期通期の連結営業利益は以下に述べる増益要因と減益要因を反映した結果、前回発表時(平成27年5月15日)からの変更はありません。増益要因は、4-6月期における石油事業および石油化学事業の実績が前回予想を上回ったこと、並びに石油化学製品は7-12月期も高いマージンが続くと想定したことです。一方減益要因は、7-9月期の石油製品の国内および輸出マージンの想定を下げたこと、並びに原油価格下落による在庫評価損の見込み額を前回予想の300億円から450億円に修正したことです。

当期連結純利益は、7月に実施した極東石油工業合同会社の吸収合併の影響を前回予想では軽微としておりましたが、今回予想においては税効果の影響により前回予想を60億円上回ると想定しています。なお、1株当たり年間38円の配当見通しについては、前回発表からの変更はありません。

以上